

施設名称	母子生活支援施設さくら荘	指定管理者の名称	社会福祉法人 愛隣団
------	--------------	----------	------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	愛隣保育園、愛隣団隣保部（病後児保育、一時預かり保育など）
②類似施設の管理実績	なし
③経営状況	(20 年度決算) 経常収入 256,698,160 円 経常支出 224,106,941 円・施設整備等による支出 6,470,120 円・財務活動による支出 22,003,315 円 収支差額計 4,117,784 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区橋場 1-35-7
②設置目的	配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその女子が監護すべき児童等を入所させ、これらの者を保護する。
③利用者	配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその女子が監護すべき児童等
④開館日・時間	休みなし
⑤規模	鉄筋コンクリート 3 階建ての 2・3 階部分、床面積 714.01㎡ 入所定数 10 世帯
⑥人員体制	常勤 6 名、非常勤 1 名 ほか嘱託医 1 名

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	児童福祉法、並びに子どもの権利条約、DV防止法等の法令に基づき、生活自立のための支援を必要とする母子へ支援サービスを行う。 ・母親への支援（精神的安定・生活課題の解決・養育上の課題・就労等の支援） ・児童への支援（基本的生活習慣の形成、学習支援、病児・補助保育等） その他退所に向けての支援、関係機関との連絡調整、苦情解決への取り組み
②自主事業	社会復帰等自立促進事業〔入所者と地域の交流(餅つき・清掃活動など)〕

4. 施設の稼動状況等

【利用実績】

年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度
延世帯数	100 世帯	110 世帯	107 世帯	108 世帯
延人数	237 人	275 人	265 人	258 人

5. 予算決算の推移 (単位：円)

		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委 託 料	31,984,000	32,257,000	32,736,000	33,024,000	33,400,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	31,984,000	32,257,000	32,736,000	33,024,000	33,400,000
決 算	委 託 料	31,984,000	32,070,537	32,690,814	33,021,261	
	料金収入等	0	126,587	584,631	465,622	
	管理経費	31,984,000	32,197,124	33,275,445	33,486,883	
	収 支	0	0	0	0	

6. 指標

指標名称	単位	目標値 (22 年度)	19 年度	20 年度	21 年度
入所延世帯数	世帯	120	107	108	
延入所者数	人	260	265	258	

7. 評価項目		
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 ー：評価対象外項目		
評価の観点	評価	項目
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [2] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [1.8]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [ー]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [1.7]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費削減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [ー]
8. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	365日・24時間体制で入所者をサポートする特殊な施設であるが、水準を満たした運営を行っている。入所者に対する毎日のサービスについても水準を満たしている。
②施設の維持管理	A	軽微な故障や破損については、指定管理者として速やかに対応してもらおうよう指導している。
③利用者の満足度	A	個々の入所者が抱えている問題は複雑であり、支援については一人ずつ異なる対応が求められているが、入所者の満足度は概ね高い。
④歳入歳出	A	適切で継続的な処遇の為、人材育成と継続的な雇用が必要だが、より効率のよい運営に向けて、歳出削減の努力が求められる。
⑤総合評価	A	全体的に、おおむね適切な施設運営が行われている。
9. 課題への対応等		
<p>全体的には、入所者に対して適切なサービスが提供されていると言える。</p> <p>今後の課題としては、関係機関と協力し、情報を共有するとともに、入所者の自立には、地域に根ざした関係が重要であることを理解し、積極的に地域や関係機関と関わっていくことを、入所者に促す必要がある。</p> <p>入所者の状況は一人ひとり異なっており、自立へのアプローチも異なるが、それぞれにあった自立を促せるよう、日々の適切な処遇に向けて努力していただきたい。</p>		